

平成 22 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 プラコー
代表者名 代表取締役社長 秦 範男
(J A S D A Q ・ コード 6 3 4 7)
問合せ先 取締役 権田 和陸
電話 0 4 8 - 7 9 8 - 0 2 2 2

当社株式の上場時価総額について

当社の株式につきましては、平成22年1月の上場時価総額(月末上場時価総額)が所要額未滿となりましたので、今後の対応につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の時価総額について

当社株式は、平成22年1月の月末上場時価総額が3億円未滿となりました。

ジャスダック証券取引所株券上場廃止基準第2条第1項第3号(上場時価総額)では、9ヶ月(事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他ジャスダック証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を3ヶ月以内にジャスダック証券取引所に提出しない場合にあつては、3ヶ月)以内に、毎月の月末上場時価総額および月間平均上場時価総額が所要額以上にならない時は、上場廃止になる旨記載されております。

(ご参考)

- (1) 当社株式 平成22年1月末(1/31)現在のの上場時価総額
1月末最終価格 14円×1月末上場株式数20,486,585株＝月末上場時価総額 286,812,190円
- (2) 当社株式 平成22年1月月間平均時価総額 315,924,705円

2. 今後の対応について

当社が属するプラスチック成形機業界におきましては、自動車業界、産業機械業界など急激かつ大幅な市場収縮した業界を対象とした商品が主体であることから、当社の業況は当面厳しいものと予想しております。このような市場環境の下、当社では営業体制の強化と新開発または新分野の商品の上市により対前年度比約20%減少した売上高の回復を図ります。また生産コストダウンと固定費の削減に努め、収益性を高めると共に、財務体質の強化と安定に向けて、全社上げて取組むことにより企業価値を高め、社会貢献を果すべく引続き上場を維持するよう努めます。

なお、今後3ヶ月以内にジャスダック証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他ジャスダック証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出のうえ、当該情報の開示を行う予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑並びにご心配をおかけいたしますが、何卒ご理解並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上